

大阪北組五區岩井町三日本幡平吉の母おたけとして顔お霜の老の  
 くもせし可憐なる年あみゆ強欲の弥陀の煮てお合を羊もたぐふ  
 道ひが掴いた死深切あうお人の思えし貫ふ古拙の熊鷹  
 澤く養育代が運のつぎ命を取て又もらひなびく  
 皇ろ子殺し一兇惡終に我身おむらむ  
 地獄の可責いあらるるをいふ  
 世業の疲晩を厳しく捕縛  
 せられしあふ戒めと人々を  
 憎まぬものうけあうそなり

文花堂誌

大阪錦画新詔



阿波文板

文花堂誌